

Count on Me

～みんなを頼って～



江戸川区立清新第二中学校
第2学年通信 No.23

2025. 10. 31

■ けやき祭、感動をありがとう！！

それぞれの学級が、自分たちの最高の表現を求めて、練習から本番まで力を尽くしました。練習の中心となって頑張ってきた実行委員、指揮者、伴奏者、パートリーダーのみなさん、本当にお疲れ様でした。体育館に響く2年生の歌声は、どのクラスもそれぞれの個性を生かした合唱で、どこが金賞をとるか最後まで分からない大接戦でした。また、午後の舞台発表でも、茶道部・生徒会・吹奏楽部2年生の皆さんの活躍で、大いに盛り上げてくれました。

昨年、今年とみなさんは着実に力をつけ、成長してきました。来年はいよいよ最後のけやき祭、今から本当に楽しみにしています。最後に、お忙しい中、会場に聴きにきてくださった保護者の皆様、ありがとうございました。

A組

C組

B組

金賞C組
銀賞A組
銅賞B組

指揮者賞 A組



さん

■ 10/17 週テスト【数学】結果発表！！

今回は第二回定期考査の試験範囲でした。復習をしっかりと行うようにしてくださいね。

満点（よく頑張りました）＜敬称略＞

A組 9名

B組 7名

C組 6名

【けやき祭作文を紹介します】



一生の思い出 A組

今年のけやき祭では、クラス全員で合唱に全力で取り組みました。曲が決まった日から、毎日のように練習を重ね、どうすればもっと心に響く歌になるかをみんなで考えました。最初のうちは声がそろわず、先生に何度も注意されましたが、少しずつ音が重なり合ってきたときの喜びは、とてもすごかったです。その瞬間から、クラス全体のやる気が一気に高まりました。

練習中は意見がぶつかり合うこともありました。「もっと強く歌おう。」「いや、違うでしょ。」と考えが違うこともありました。ですが、話し合いを重ねるうちに自然と協力する雰囲気が生まれ、クラスの団結が深まっていきました。私はその時間がなぜか気に入りました。みんなで団結し、同じ目標に向かって努力しているという一体感があったからです。

本番の日、舞台の上に立つと緊張で心臓がドキドキしました。でも、ピアノの音が鳴り CD の音が鳴り始めると、これまでの練習の日々が思い出され、「ここまで頑張ってきたんだから自信をもっていこう、金賞取れる。」と自分に言い聞かせて歌い始めました。「めぐる」と声を出したときに、あまりみんなの声が聞こえませんでした。思った以上にみんな（自分も）緊張していたことでしょう。ですが、となりの くんの声に合わせて全力を出しました。そして歌い終わったとき会場からの拍手がとても嬉しくて、思わず笑顔になりました。結果は銀賞でした。あと少して金賞だったので正直悔しかったです。でもそれ以上に、みんなで力を合わせてやり切った達成感がありました。この経験を通して、努力を積み重ねることの大切さを学びました。来年は今年の悔しさをばねに、もっと心をひとつにして練習に励み、今度こそ金賞を取れるように頑張りたいです。

11月の予定					
11/3	月	文化の日	10	月	朝礼 自習教室 16:00～17:00
4	火	⑥コース決め 3回目	11	火	自習教室 16:00～17:00
5	水	区中研 45分授業①カット 定期考査 1週間前	12	水	定期考査 1日目 ①社会 ②理科 ③音楽
6	木		13	木	定期考査 2日目 ①数学 ②美術 ③技家
7	金	音楽鑑賞教室(AM)	14	金	定期考査 3日目 ①国語 ②英語 ③保体

力を合わせて得たもの B 組

秋晴れの十月、私にとって二回目のけやき祭が行われた。二年B組で挑んだ合唱は、仲間との絆を深める大切な時間だ。みんなで力を合わせた日々は忘れられない思い出になった。

合唱コンクールに向けてクラスでは金賞を取ることを目指し、毎日の練習に取り組んだ。パートごとの練習なども取り入れ、少しずつけやき祭に向けて意識を高めていった。そして迎えた本番、とても緊張していた。ステージに上がり観客席を見た瞬間、目に入る光がどれもまぶしかった。今までの練習を思い返し、堂々と歌うことができ、仲間との声が体育館に響いたとき、胸が高鳴ったのを覚えている。観客の拍手を聞きながら自分たちの席に目を向けると、先生と大切な仲間の姿があった。ここまで頑張ってきてよかったと強く思えることができた。特に私が印象に残っているのは、三年生の合唱だ。圧倒的な迫力と一体感、全員が一つになって歌う姿はとてもかっこよかった。鳥肌が立つほど強く、会場を揺らすようなハーモニーに感動した。来年はこの合唱を超えるような、会場にいる人たち全員の心に響くような合唱をしたい。

合唱コンクールの結果は銅賞だった。目標だった金賞には及ばなかったが、それでも私はうれしかった。私たちの歌声で会場一人一人の心を動かすことができたのだ。けやき祭を通じて、仲間と共に一つのことを成し遂げる喜びを改めて感じた。練習で笑いあったことも、ステージで声を合わせたこともすべてが宝物だ。このクラスでいられるのも残り数か月、これからの毎日を大切にしていきたい。

けやき祭とは C 組

けやき祭とは何なのか。それは、一人一人が頑張ることの大切さを学ぶことであると思う。けやき祭では、一年で金賞を取った。そのときはめっちゃうれしかった。だから、この喜びをもう一回味わいたいと思い、今年も金賞を絶対取りたかった。練習では、自分のクラス2年C組が一番頑張ったと思う。指揮者、伴奏者、けやき祭実行委員が改善点を出し、「ここはみんなで合わせよう。」「ここの強弱を意識しよう。」など、とても頑張ってくれた。それ以外の人も、歌う時は声を出し、改善点を言い合い、ふざけてた人も歌うときはちゃんと歌ってくれた。こんなに頑張ったら金賞を取るしかないだろうと思い、自分でもやる気がどんどん出てきた。「先生も金賞を取りたい」という気持ちが自分に伝わり、やる気が湧いた。たぶんみんなも僕みたいにやる気が出ていたのだろうと思った。

本番では金賞が取れた。これは2年C組の一人一人が頑張ってくれたからだと思う。あと、誰よりも頑張ってくれた人がいたからでもあると思う。来年には最後のけやき祭で、後輩にすごいところを見せてあげないといけない。だから、今年より一人一人がもっと頑張る必要がある。そしてまた金賞を取りたい。あと来年にはダンスもある。ダンスは嫌いで、あまりやりたくないが頑張ろうと思う。来年にはダンスがあるから、けやき祭をやることの違う意味が出てくる。またそれを来年考えようと思う。

